

福島第一原子力発電所 サブドレンNo.4中継タンク 堰内における配管フランジ部からの地下水滴下について

■ 発生内容

4/21にサブドレンNo.4中継タンク堰内において、配管フランジ部から汲み上げた地下水の滴下を確認。

なお、当該フランジ部を含む堰内の配管は、4/15～19にかけて分解清掃を行い、4/20に運転を再開。

(4/20の運転再開時には、漏えいがないことを確認済み)

■ 時系列

2016年4月21日（木）

10:20 協力企業作業員が当該箇所から滴下を確認
(2秒に1滴 約1m×0.5m (推定)約0.5リットル)
吸水シートによる拭き取り実施

10:34 揚水ポンプによる汲上げ停止
中継タンクから集水タンクへの移送停止

10:40 滴下がないことを確認

11:00 No.4中継タンクの全バルブの閉止（当該フランジ部上流・
下流とも）および当該フランジ部の増し締め実施

14:50 当社立ち会いの下、運転圧による漏えい確認を行うため
当該フランジ部周囲のバルブ開操作を行ったところ、再度
滴下を確認(20秒に1滴)したことから、全バルブを閉止

15:30 現場を継続監視し、滴下がないことを確認

2016年4月23日（土）

11:43 当該フランジ部のパッキン交換及び運転圧による漏えい
確認を完了し、No.4中継タンク系統の運転を再開

■ 原因と対策

- 配管の分解清掃を行い、復旧する際に交換した当該フランジ部パッキンのかかり代が小さかったことから、パッキンがずれて隙間が生じたものと考えられる。
- 今後、配管等を分解点検する際は、消耗品等の新旧部品に相違がないことを確認する。

